



ニュースで伝える全麵協の今

発行:全麵協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

各支部総会開催報告

北海道支部通常総会開催報告



5月14日(日)滝川市にて一般社団法人全麵協北海道支部第19回通常総会を開催しました。

本総会には、当支部正会員65団体中、出席42団体・委任状22団体、支部

総会出席者66名のご参加をいただき、開催いたしました。

守田秀生北海道支部長の挨拶の後、来賓として本部からご臨席をいただいた、山本良明副理事長、加藤憲理事をご紹介後、加藤憲様から富山で開催される30周年記念式典には、北海道支部から100名余の参加者が予定されているなど、全麵協に対して非常に意識の高い支部であり、他の支部より早く組織が立ち上がり、模範となっているなどのご挨拶をいただきました。

議案は、

- ①第1号議案 令和4年度事業報告
- ②第2号議案 令和4年度収支報告・特別会計報告・会計監査報告
- ③第3号議案 令和5年度事業計画(案)
今年度「そば道五段位認定会」が開催されることから、認定会を運営するに当たり早期に実行委員会を発足してほしい旨の要望がありました。
- ④第4号議案 令和5年度収支予算(案)
五段位認定会関係の予算について質疑がありました。
- ⑤第5号議案 北海道支部規約及び規程等の改訂
- ⑥第6号議案

その他では、近年、高校生・中学生等の会員も増えていて、年会費について学生割引的な対応をしてほしい旨の要望がありました。

全議案とも議決承認をされ、新規会員の紹介、各団体からイベントの報告をいただき、支部総会は3時半ころ無事終了しました。

(北海道支部 事務局長 塚越 智)

西日本支部通常総会開催報告

令和5年度通常総会を5月7日(土)姫路市市民会館で開催しました。本部から山本副理事長、加藤記念事業担当理事にご来場いただきました。

西日本支部の正会員総数73、出席した正会員数28、書面決議の正会員数33で、正会員総数の過半数であり、総会は成立しました。

篠原支部長の挨拶

- ・新規事業として新任地方審査員技術研修会を開催して審査技術向上を図った。
- ・新規事業として名人大会を開催し、40名が熱戦を繰り広げた。好評であり、次回開催要望も多く、継続していく。
- ・新規事業として五段位筆記試験セミナーを開催した。受験者の意欲向上につながることを期待する。
- ・四・五段位実技研修会を姫路では初めて開催し、43名が熱心に練習した。
- ・「全麵協に入って良かった」と思って貰える事業を進めて行くので、今後共ご支援をお願いします。



山本副理事長の挨拶

支部の声を聴く事を目的に支部総会に参加をさせて貰った。

四・五段位向けのそば粉を6月から販売する。

東京の都立産業貿易センターで五段位全国大会を開催する。

加藤記念事業担当理事の挨拶

・富山の30周年記念式典に460名(西日本支部96名)参加いただき感謝する。

支部総会議事は、第1号議案から第5号議案まで全ての議案が満場一致で承認されました。

総会後には本部幹部の方々と、また支部会員同士で交流を深めることが出来ました。

(西日本支部長 篠原美文)

中日本支部通常総会開催報告



4月29日、富山市にて一般社団法人全麵協中日本支部第15回通常総会を開催しました。

森支部長の挨拶、来賓として本部から中谷理事長、赤羽専務理事にもご臨席いただき、理事長からご挨拶をいただきました。議長には、三つ峠そば打ち愛好会中村常実氏を選出し、議事に入りました。

第1号議案 令和4年度事業報告及び第2号議案 令和4年度決算報告を慎重に審議し、承認されました。

また、第3号議案 令和5年度事業計画及び第4号議案 令和5年度予算についても、慎重に審議し、承認されました。

5年度の主な事業は、次のとおりです。

6月10日 地方審査員審査技術研修会

9月24日 四段位西桂町認定会

10月7日 三段位松本認定会

11月26日 三段位富山認定会

(中日本支部事務局長 大塚 裕一)

東日本支部 四段位認定講習会



東日本支部は、去る5月21日に開催しましたので、ご報告いたします。

2月の受講募集より23名の方が申し込まれ同人数が受講されました。

開催場所も遠方の方への配慮として、宇都宮駅に隣接する「宇都宮交流拠点ライトキューブ」という11月完成の新施設で、13時から半日コースでの開催でした。

本部講師として、山本副理事長は「魅力ある全麵協の事業と運営」と「石臼製粉の魅力」を、また井

指導普及部長は「延しと切り」について講義がありました。

また、当支部の独自講義として菅野副支部長から「私のそば打ち人生」と題して講義があり、受講生は勿論、支部役員も真剣に聞き入っておりました。

第5項では、最後に主題の四段位事前審査申込手続きについて、市川段位認定部長より詳細な説明を行いました。

その後、質疑応答と9月17日に予定されております実技試験までの日程など確認し、有意義な講習会となりました。

(東日本支部段位認定部長 市川宗信)

西日本支部 四段位認定講習会



西日本支部では、5月21日(日)に姫路・西はりま地場産業センターで開催し、受講者32名が熱心に聴講されました。本部から中谷理事長・赤羽専務理事にご来場いただき、貴重な講義をして戴きました。

【テーマ1、2】赤羽専務理事の「延しと切り」、「石臼製粉の魅力」の質疑では、篩残りのそば粉の扱い、粗挽き粉水廻しの方法と決め水の見極め、包丁の運び方(落とし切りとスライド切りについて)、切り終わり駒板の運び方などについて活発に質問が出され、赤羽専務理事及び篠原支部長から丁寧に答えて戴きました。

【テーマ3】中谷理事長の「魅力ある全麵協の事業と運営」では、6月から四段位・五段位練習用そば粉が通年で販売される事が案内されました。受験生が本番と同じ品質のそば粉で練習出来て、技術向上する事が期待されます。

【テーマ4 支部独自講義】わいわい芸備蕎麦塾入江会長の「四段位認定者への期待(新規会の立上げ)」では、広島県北部や島根県出雲の「空白地帯」での普及活動の苦勞、地域との交流の喜び、高段位者への期待などが生き生きと話されました。

【テーマ5】米田事務局長の「四段位事前審査について」では、重要事項や注意事項などが説明されました。

【閉講式】受講者を代表して毛利元真さんに篠原支部長より修了証書が授与されました。また藤井副支部長から受講者への激励の言葉がありました。

(西日本支部長 篠原美文)

七段位(範士)認定選考会「報告」

加藤憲理事・七段位に認定される

七段位(範士)認定選考会の目的は、「我が国における手打ち蕎麦文化の普及に大きく貢献し、全麵協を持続可能な組織として拡充・発展させていくために尽力されたこと。さらに、引き続き伝統的なそば食文化及び全麵協が定めた“そば道”の普及を図り、そばへの関心を高めることができること」となっています。

この目的に適う人物として加藤憲理事が推薦され、5月10日全麵協本部にて選考会(面接審査)を実施しました。その結果、七段位(範士)第1号として、加藤憲理事が見事認定されました。



全麵協30周年記念式典(5月27日～28日富山市)で七段位認定証を授与された加藤憲理事

(専務理事 赤羽章司)

研修センター

駐日スロベニア大使そば打ち体験



6名がそば打ち体験をされました。

中谷理事長から歓迎の挨拶があり、また、ヤネス大使からはこのような機会を設けていただいたことに対し感謝の言葉がありました。

板倉副理事長及び横田総務部長の解説によるデモ打ちを見学した後、講師の指導を受けながら、水回し、延し、切りと体験していただいたところですが、ヤネス大使は、初めてとは思えないほど手際がよく一番先に打ち終わっていました。もしかすると、スロベニア共和国そば道初段位取得第1号誕生もあるかもしれません。

また、日本、スロベニア共和国友好議員連盟会長の逢沢一郎衆議院議員(岡山1区)が政務多忙の中お見え



になり、熱心にそば打ちを見学され、おそばも食べていただきました。

懇親会では、担当した講師らと終始和やかに談笑しつつ、自分たちの打ったそばや講師のそばを食べさせていただき、そば打ちプラス研究会の蕎麦料理なども召し上がっていただきました。



(研修センター運営部 萩原敏彦)

会員だより

94歳 そば打ちが生き甲斐



埼玉県秩父市山田に所在する「恒持庵」(会長坂本始喜)に所属している齋藤定夫さんは昭和4年生まれ、御年94歳です。84歳で知人に誘われそば打ちを始め、1日約6時間の猛特訓をして平成26年10月に新潟県新発田市

での第21回日本そば博覧会会場で開催された初段認定会に挑戦して見事合格され、引き続き2年後の埼玉認定会において二段位に認定されました。

当時としては86歳の二段位認定者は全国最高齢ではなかったかと思えます。その後、奥様の介護でそば打ちは一時中止せざるを得なかった時期もあったそうですが、奥様に先立たれた後は単身で自宅で悶々とする生活を送ることはかなわず再びそば打ちを始めたそうです。

現在は、週に1回自宅から約3キロぐらい離れている恒持庵にタクシーで乗り付けそば打ちを楽しん

でいるとのことでした。

高齢のために自動車免許証は返納してしまったためにタクシー通いをしなければならぬようですが、そば打ちが楽しくて楽しくてそば打ちの来日待ち遠しくて毎週欠かさず通ってそば打ちをして、その打ったそばを持ち帰り毎日自分で茹でて食べているそうです。

今はそば打ちが生き甲斐となり100歳になるまで続けたいと高い目標を掲げているということです。

齋藤さんに乾杯!!



(理事 加藤憲)

そばは老化細胞を除去する？

江戸流手打ちそば二・八の会 松本 明

日本は世界有数の長寿国であるが、健康で元気に過ごすことによって長寿の喜びと楽しみが生まれる。加齢現象を防ぐ研究は多岐にわたっているが、「老化細胞」を除去して細胞の老化や加齢性疾患を防ぐ研究が近年注目を集めている。この細胞は「ゾンビ細胞」とも呼ばれ、科学誌Natureに‘To stay young, Kill zombies’と老化防止の切り札として紹介されている。

老化細胞とは、加齢に伴い細胞分裂ができなくなって本来の機能を果たさない細胞が体内に残っている細胞である。老化細胞は細胞老化関連分泌現象を起こすことが知られていて、老化細胞の分泌する炎症性サイトカイン(インターロイキン6、腫瘍壊死因子αなど)が慢性的な炎症を引き起こして老化細胞周辺の組織や臓器に障害を与え、アルツハイマー病、動脈硬化、糖尿病などの加齢性疾患の発症リスクを高めている。老化細胞を除去する薬剤の開発が世界中で進められている。

では、日常生活で老化細胞の除去に役立つことはないであろうか。米メイヨークリニックのKirkland博士らの研究によると、ケルセチンは培養したヒト臍帯静脈の内皮細胞とマウスの骨髄由来間葉系幹細胞から老化細胞を除去する効果のあることが分かった。ケルセチンに化学構造が似ているフィセチンも培養したマウスとヒトの脂肪組織の老化細胞で同じ効果を示した(米ミネソタ大学Robbins教授らの研究)。いずれもポリフェノールに属し、フィセチンがそばに含まれているか未報告であるがケルセチンはそばの成分の一員である。これはそば好きの諸姉兄にとって朗報であろう。

ダツタンソバはフツウソバに比べ100倍近いルチンを含んでいる。ルチンはルチニシダーゼという酵素によってケルセチンとルチノースに分解される。ケルセチンは苦みの成分で、ダツタンそばが「苦そば」と呼ばれる由縁である。しかし、ケルセチンが抗酸化作用、抗炎症作用に加え、上記した老化細胞除去作用を持つことは特筆に値する。

そばで老化細胞を除去し、元気に長生き!

皆様からの情報提供をお待ちしています。

全麵協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司

編集主任 原秀夫

チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子